

玉造地区

(島根県松江市)

- 計画期間 平成19年度～平成23年度
- 面積 64.1ha
- 交付対象事業費 429.5百万円
- 市人口 206,670人(地区内人口 1,896人)

ポイント

15軒中4軒の旅館が倒産という厳しい現実、旅館関係者だけでなく地域住民も危機感を共有。「まちづくりのチャンスは今しかない」と行政と住民が一丸となって立ち上がり、ハード・ソフト事業の連携で、まち歩きする観光客で昼間から賑わう「玉造温泉」へと再生を図った。

地区概要

温泉街に訪れた観光客が快適にそぞろ歩きを楽しめるように、季節ごとのイベントの開催や安全・安心な道路の整備、手湯・足湯、情報案内板などを備えたポケットパーク等の整備することにより、官民一体となり魅力ある温泉街の再生を図った。

目標

玉造温泉ならではの観光、交流空間を創出し、温泉街の賑わいを再生する。

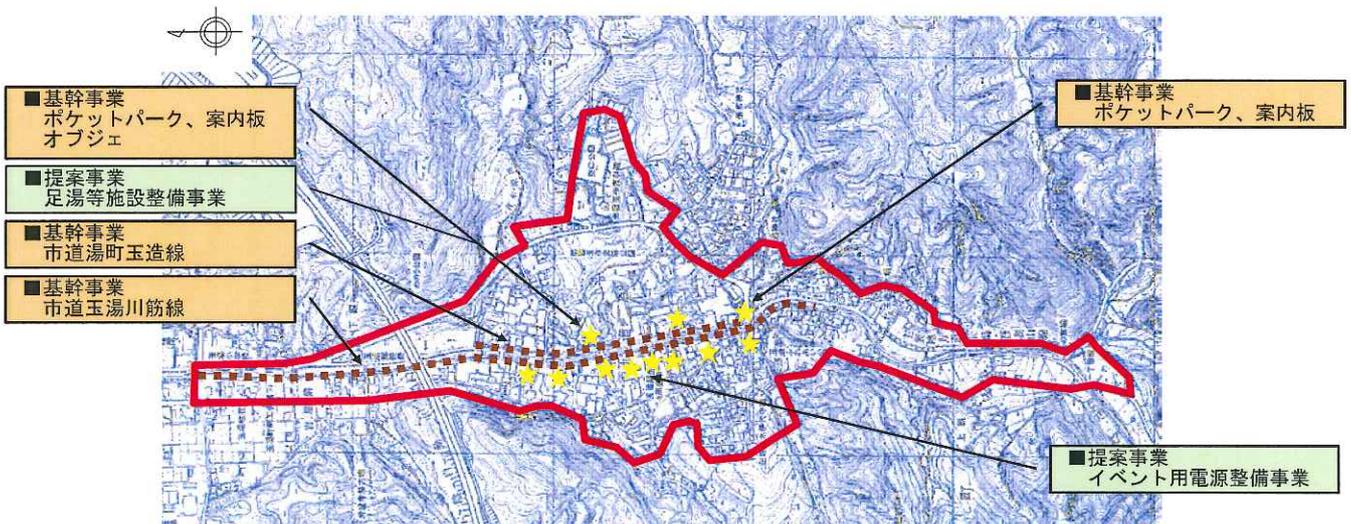
指標

「温泉街の賑わいの再生」、「まちあるき観光の推進」という観点から、下表のとおり目標指標を設定した。

観光客の歩行者数	715人/7h (H17)	→	805人/7h (H24)
観光客の地区内散策時の満足度	25.1% (H16)	→	76.7% (H24)
温泉街において、歩行者が車に対して危険を感じる割合	66.4% (H17)	→	29.0% (H24)

事業内容

- 基幹事業 (412.9 百万円) → 道路 (延長:92m)、地域生活基盤施設 (ポケットパーク:2ヶ所、案内板:N=2ヶ所)、高質空間形成施設 (カラー舗装:L=1,699m、インターロッキング舗装:L=546m)
- 提案事業 (16.6 百万円) → 地域創造支援事業 (手湯・足湯施設整備:N=2ヶ所、イベント用電源整備:20KW)、まちづくり活動推進事業 (イベント開催、パンフレット作成等)



地区の現況と課題

松江市の西南に位置する本地区は、山陰屈指の温泉街であり、玉湯川に沿って広がっている。弥生時代には既にめのの産出・加工が行われており、周辺には文化財や史跡も多い。また、奈良時代には既に老若男女で賑わう温泉地であったとの記録が残っており、温泉地としての歴史は古い。しかし、平成5年には90万人近かった観光客入込数が、近年では若干のパラツキがあるものの、70万人台で低調に推移している。

また、旅館・ホテルは相次いで大型化、近代化を進め、館内での飲食、娯楽、物販機能等を充実させた。その結果、宿泊客の囲い込みにつながり、地場産業との結びつきに欠け、温泉街の賑わい低下を招き温泉街としての魅力を奪うことになった。

提案事業の特徴

足湯等施設整備事業

ポケットパークに地域資源である温泉を活かした足湯や手湯施設を設置した。

まちづくりプロジェクト推進事業

自治会、女性団体、旅館組合、観光協会、商工会などが中心となり、「玉造温泉街活性化プロジェクト会議」を発足させるにあたり、専門家を派遣し、指導・助言を仰ぐことにより、まちづくり活動の促進を図ることができた。

イベント用電源整備事業

温泉街中心部に在る玉湯川河川敷ステージを活用し、日常的にイベント等を開催するために電源設備を設置した。

夏祭り等の開催により、観光客の回遊性を高め賑わい再生につなげることができた。

まちづくりの効果、持続的取り組み

多くの観光客が訪れる玉作湯神社の周辺では、地元婦人会が中心となり「おすそわけ茶屋」を運営し、来街者へ湯茶のサービスやボランティアガイドを行っている。

さらには、地元企業による美肌温泉のコスメショップ、美肌ドリンクのドリンク店のオープンなど、美肌・姫神の湯を感じるお店もオープンするとともに、地元旅館のスタッフと地元有志が協力し、夏祭りを7月から8月まで連日開催するなど、地域一丸となって賑わいづくりに取り組んでいる。

松浦正敬市長のコメント

今回の受賞は、地元の皆様のご尽力された取り組みが評価され、受賞したものと嬉しく思います。

玉造温泉地区では、神話をテーマとした景観や歩行環境の整備、夏祭りの連続開催、美肌温泉ボトルやお守りの叶い石などの商品開発は、温泉街のまちあるきと賑わい創出につながり、観光客の満足度を再生整備前の3倍以上、76.7%と飛躍的に高めることができました。

今後、この例を見習い、全市の素晴らしい観光資源を存分に活かし、農業・漁業から商店街まで経済波及する松江スタイルの「まちあるき観光」を目指します。

玉造温泉街活性化プロジェクト会議代表

松崎滋氏のコメント

玉造温泉地区のまちづくりは、観光関連団体と地元自治会関係者が一体となって、まちづくりのビジョンを皆で考えるところから始めました。そこから生まれたコンセプトが「神話のふるさと 姫神の湯 玉造温泉」です。

このコンセプトに沿って、ハード整備やソフト事業を進めたわけですが、まちづくりはハード・ソフトだけではなく、玉造地区では、住民の皆さんが「玉造温泉」を誇りに思い、清掃活動や観光ボランティアなど自分もできる「おもてなし」に参加くださる方も多くおられます。このような多くの皆さんのおかげで、多くの来訪者で賑わう街となったと心から感謝しています。

これからも一人でも多くの住民の方に参加していただき、まちづくりを一層進めていきたいと思っています。



おすそわけ茶屋



ボランティアガイド



玉作湯神社



夏祭り